

2016年6月24日

報道関係者 各位

株式会社フジタ
代表取締役社長 奥村洋治

2016年VE発表会を開催

大和ハウスグループの株式会社フジタ（本社：東京都渋谷区、社長：奥村洋治）は、このほど「2016年VE発表会」を開催しましたのでお知らせします。

1. 概要

日時：2016年6月17日（金） 9:30～16:50

場所：更生保護会館 4階 大会議室（渋谷区代々木）

発表数：30編

出席者：358名（フジタ本社および全国8支店・支社・事業部、関係会社、協力会社）

2. 開催の趣旨

この発表会は、フジタと協力会社、関係会社の優れたVE実施事例を報告することにより、相互の情報交換を通じてVE技術の向上と強化・蓄積を図ることを目的としています。

3. 発表内容

開会にあたり、奥村洋治社長と池田慎二会長（新フジタ全国連合会会長）の挨拶と金子賜副社長（VE推進委員長）の訓話がありました。

つづく事例発表では、2015年度に本社および支店・事業部から推選された重点VE事例400件の中から、管理、営業、設計、建築、設備及び土木の6部門より24編、並びに関係会社及び協力会社より6編の発表が行われました。発表内容は、顧客満足度を向上させた事例や、生産性向上、工期短縮、工法の省力化・合理化、技術的な問題点の克服、及び管理上の業務改善事例など国際的かつ多岐にわたり、活発な意見交換の場となりました。終わりに、最優秀賞を含む各賞の表彰が行われ、今期の更なるVE活動の発展を祈念して閉会となりました。



発表会場の様子

奥村社長挨拶

フジタのVEの歴史は大変古く、建設業界では最も早い1968年に導入してから、50年近く実績を積み重ねてきた。

生産性の向上は建設業界の最大の眼目の一つであるが、そのためには、いかにVE活動を活発化していくかが重要になってくる。

昨今、建設業界において品質に関わる問題が大きく取り上げられている。VEにはコストの低減という狙いもあるが、それにより品質・機能が低下してしまつては本末転倒である。VEの基本である“機能本位”をしっかりと認識して、顧客の信頼を勝ち取ってもらいたい。



池田会長挨拶（新フジタ全国連合会会長）

新フジタ全国連合会は、全国10地区の藤興会と交通事業部の共栄会で運営しており、今年度は1195社と大きな組織となった。藤興会は、約10年前からフジタのVE発表会に加わり、フジタと一体となってVEを実践してきた。今では躯体・仕上げ・設備・外構など、各専門会社が職種の垣根を越えてVE活動を行っている。大きな組織となった今年度は、より進化したVE活動をして成果をあげていきたい。



4. 表彰

審査の結果、優秀事例は以下の通りです。

■社内

最優秀賞：設計「平面計画を維持しつつ、保有技術の適用による総合設計VE」

優秀賞：建築「アリーナ大空間鉄骨建方の省力化」

優秀賞：土木「高欄上部施工のための養生設置を省力化」

優秀賞：設備「電気室換気方式の検討」

優秀賞：管理「海外赴任者の定期健康診断受診率の改善」

■協力会社

最優秀賞：「現場に喜ばれる基礎仮設の検討」

優秀賞：「調理室の消火設備の見直し」

■関係会社

優秀賞：「東北新幹線山岳地帯における災害発生時の状況掌握迅速化」

【お問い合わせ先】

株式会社フジタ

〒151-8570 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-25-2

広報室／門田

TEL 03-3402-1911